

録音

録音機能のご紹介

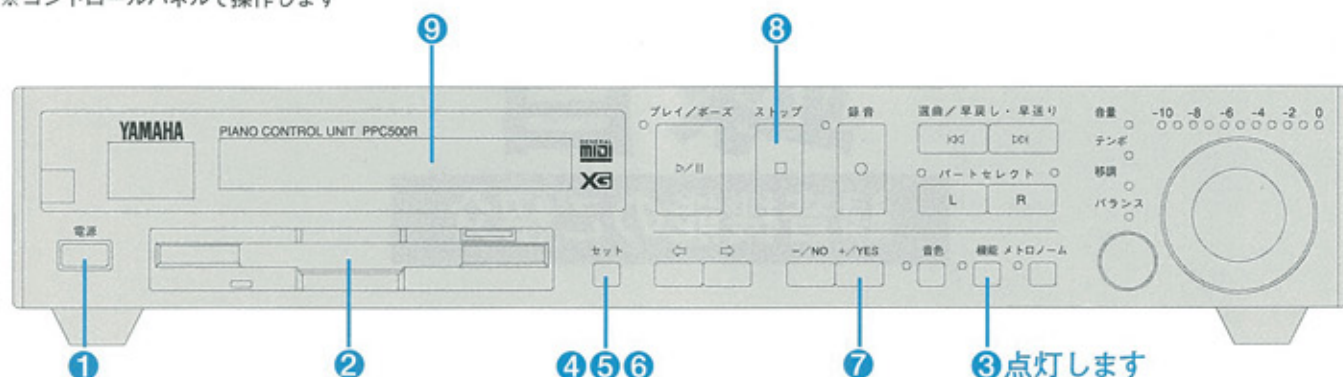
ご自分の演奏、お子さまの演奏、お友達たちの演奏……。再生だけでなく、録音できるのもサイレントアンサンブルピアノの大きな特長です。ピアノだけでなく、リズムパートや伴奏パートを加えたアンサンブル曲の録音も行えます。なお、「フォーマットのしかた」は、フロッピーを使う前に必ずお読みください。

| | | |
|-------------------|---------------------|-----|
| 新しいフロッピーを買ったら | フォーマットのしかた | P36 |
| 基本的な録音方法は？ | 基本的な録音のながれ | P38 |
| パートキャンセルできるソフトを作る | LR録音 | P44 |
| *2度目の録音のペダリングを生かす | ペダルロックオン (LRセットアップ) | P60 |
| *両手を一度に録音する | LRスプリット録音 | P47 |
| ピアノ以外の楽器パートを録音する | アンサンブルパートの録音 | P48 |
| リズムセクションを録音する | リズムパートの録音 | P50 |
| フロッピーに名前をつける | タイトル入力 | P42 |
| 曲名を入力する | タイトル入力 | P42 |
| メトロノームを使って録音する | メトロノーム録音 | P52 |
| 録音した曲を録り直す | 再録音 | P40 |
| 録音した曲のテンポを変える | 録音テンポ変更 | P54 |

フォーマットのしかた

新しいフロッピーを使用する前に行います

※コントロールパネルで操作します



停止中に操作します

1 電源ボタンを押す

***** YAMAHA *****
SILENT ENSEMBLE PIANO

2 フォーマットしたいフロッピーを入れる (3.5インチ2DD、2HDタイプ)

ディスクカ フォーマットサレタイマセン

3 機能ボタンを押す

▶ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

※メモリディスクのフォーマットは④から操作を始めてください(フロッピーを入れる必要はありません)。

4 表示が「▶ ディスク」となっていることを確認して、セットボタンを押す

▶フォーマット *キョク ショウキョ
*キョク コビ一 *キョク ナラヒ カエ →

5 表示が「▶フォーマット」となっていることを確認して、セットボタンを押す

点滅します

[ディスク フォーマット] (一、十)
▶SMF Type Disk (セット)



- 「フォーマット」は、フロッピーをサイレントアンサンブルピアノで使えるようにする機能です。
- 新しく買い求めになったフロッピーは、録音やディスクコピーに用いる前にフォーマットを行ってください。
- ⑤の表示で、タイプを「SMF Type Disk」を「E-SEQ Type Disk」に変更することもできます。ディスクフォーマットのタイプについては、xvii、P72をご参照ください。
- メモリディスクは工場出荷時にSMFタイプにフォーマットされていますが、再フォーマットをしたり、E-SEQタイプにフォーマットすることも可能です(メモリディスクのフォーマットは④から操作を始めます)。



- すでに内容が書き込まれているフロッピーやメモリディスクをフォーマットすることもできますが、その場合は内容がすべて消去されます。
- フロッピー(またはメモリディスク)の曲を全部消したい時には、フォーマットすると一度に行えます。
- ⑥の表示で一/NOボタンを押せば、フォーマットをキャンセルして④の表示に戻ります。

6 もう一度セットボタンを押す

[ディスク フォーマット] イイテ スカ？
SMF Type Disk (YES, NO)

7 +/YESボタンを押すとフォーマット開始

シッコウチュウ
ディスクラ トリタ サナイテ !

※フォーマット中は、曲番表示部にフォーマットの進行具合が数字で表示されます。00でフォーマット終了。

※メモリディスクをフォーマット中は2行目（ディスクラ……）が表示されません。

8 約1分後下の表示になったら、ストップボタンを押す

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホタンヲ オシテクタ サイ

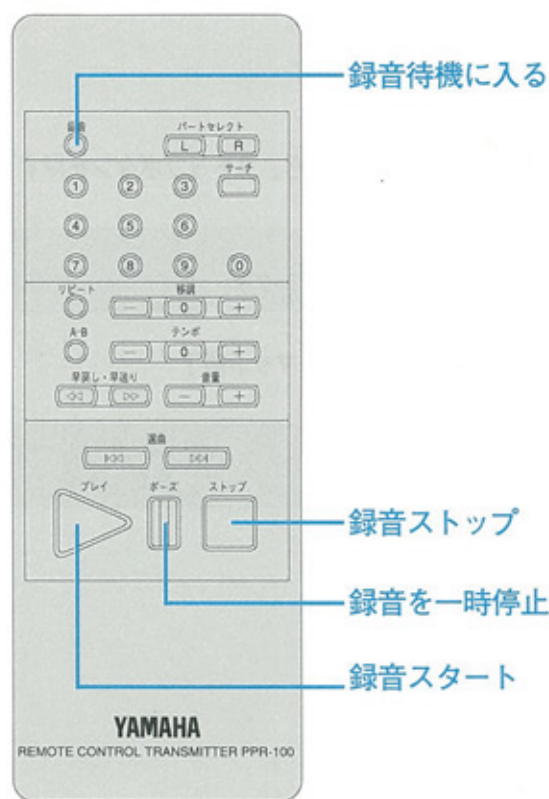
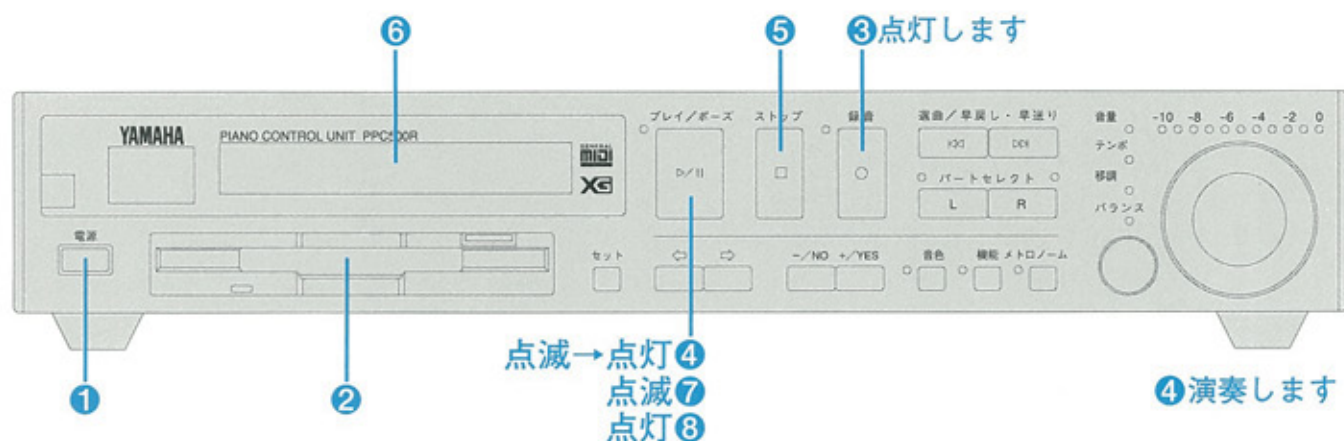
9 表示が変わったら、フォーマット終了

(00:00) →
SO XG

- フォーマットを始めると(7で+/YESボタンを押すと)、8の表示になるまで途中で止めることはできません。その間にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンのフロッピーは、フォーマットできません(xiv「フロッピーディスクについて」参照)。
- 8で「▶フォーマット」と表示されていない場合は、カーソルボタンを押して▶を移動します。
- ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン(またはストップボタン)を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ディスクをフォーマットすることはできません。

基本的な録音のながれ

ピアノ演奏の録音のしかたをマスターしましょう



1 電源ボタンを押す

○○○○○

(00:00) →
S0 XG

2 フロッピーに録音する場合はフロッピーを入れる

2' メモリディスクに録音する場合はフロッピーは不要です。

3 録音ボタンを押して、録音待機に入る

PIANO○○○○.MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 99%

点滅

メモリディスク(またはフロッピー)の残量表示(%)



- 演奏を始めた時点から録音されます。サイレント状態でも録音できます。
- フロッピーを入れないとメモリディスクに、フロッピーを入れておくとフロッピーに録音されます。
- 新しいフロッピーは必ずフォーマットしてから使用します(P36「フォーマットのしかた」参照)。



- 録音ボタンを押すと、新しい曲番号を表示。5曲録音されているメモリディスク(またはフロッピー)なら、自動的に6曲目が選ばれます。
- 新たに録音する場合、自動的にLパートに録音されます(変更も可能)。再生時、パートキャンセルして聴くためには、ここで左手パートのみ録音し、後でRパートに右パートを録音します。詳しくは「LR録音」(P44参照)をごらんください。
- ピアノ以外のアンサンブルパートやドラムパートを録音する場合は、②の録音待機状態で、カーソルボタン<> (または音色ボタン)を押して、トラック選択画面に呼び出してから行います。詳しくは「アンサンブルパートの録音」(P48)、「リズムトラックの録音」(P50)をご覧ください。
- 録音後は自動的に「PIANO○○○○.○○○」が仮の曲名としてセットされます(ファイル名は自動的に割り振られます)。録音待機状態で録音ボタンを1回押すと、タイトルを付ける画面に移ります(P42「タイトル入力」参照)。
- 「メトロノーム録音」(P58)を行うと、曲の経過が「分・秒」でなく「小節・拍」で表示されます。

- 4** プレイ/ポーズボタンを押す (ピッと音がします)
演奏を始めてください
演奏を始めた時点から録音がスタートします

曲の経過時間を表示

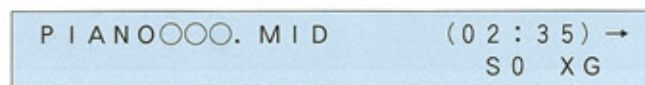


- 5** 演奏が終わったらストップボタンを押す

シッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

- 6** 表示が変わったら、録音終了



録音を一時停止したい時

- 7** プレイ/ポーズボタンを押せば、録音を一時停止

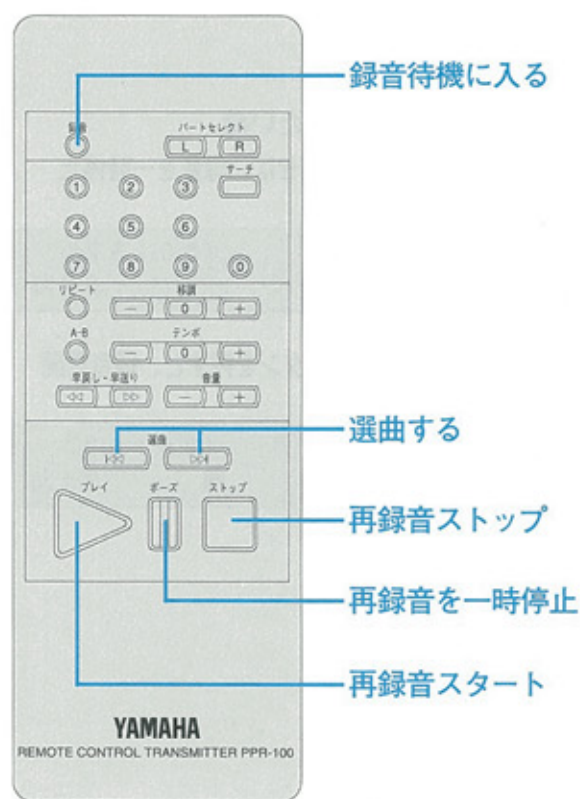
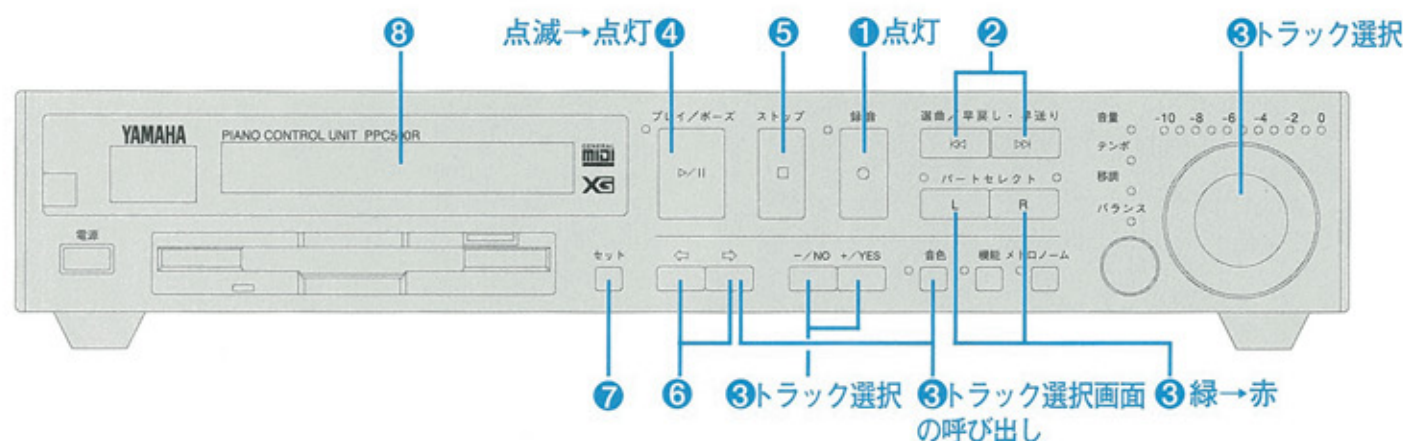


- 8** もう1回プレイ/ポーズボタンを押すと、録音再開



- フロッピーに録音中や⑤の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、⑥の表示になってからフロッピーを取り出してください。
- ③の表示で右下が「DSK」と点滅していたら、メモリディスク(またはフロッピー)の残量が10%以下です。メモリディスクが一杯になったら曲をフロッピーに移します(P68「ディスクコピー」参照)。フロッピーの場合は空きのあるものと交換してください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする、「ディスクニプロテクトガカッタイマス!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフにしてから録音してください。

再録音 録音済みの曲を、新たに録音し直す



メモリディスク、フロッピーとも、
操作は同じです。

1 録音ボタンを押して録音待機に入る

PIANO○○○○. MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 56%

2 録音し直したい曲の曲番号を選ぶ

※メトロノーム録音を選択した時はメトロノーム音が鳴ります。

3 録音トラックを選ぶ

※ピアノパートの場合はパートセレクトボタンで選択。
※アンサンブルパートの場合は右向きカーソルボタンまたは音色ボタンでトラック選択画面を呼び出し、ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで選択。

4 プレイ/ポーズボタンを押すと(ピッと音がします) 再録音スタート、演奏を始めてください

○○○○○○○○○○ (00:02)
■ S0 55%



- すでに録音してある曲を選び、同じ曲番号に新たに録音し直す機能です。
- 再録音後、録音してあった元の曲を消して再録音曲を保存するか(オキカエ)、元の曲も再録音曲も両方とも保存するか(シンキョク)、再録音曲を保存せず元の曲のままにするか(キャンセル)を、選択できます。シンキョクには新しい曲番号がつけます。



- ピアノパートが録音された曲を選ぶと、パートセレクトボタンの内、すでに録音されているパートのランプが緑に点灯します。再録音したいパートのボタンを押してください(赤く点灯します)。
- アンサンブルパートを再録音する場合はカーソルボタン ⇨ または音色ボタンを押してトラック選択画面を呼び出し、ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで録音トラックを選びます(P48「アンサンブルパートの録音」参照)。トラックを指定しないでプレイ/ポーズボタンを押すと、下のような画面になります。

ロクオン トラックヲ エランテ クタ サイ

5 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

デ ィ ス ク ニ ホ ソ ン シ マ ス カ ? (←, →)
▶ オ キ カ エ * シ ン キ ョ ク * キ ャ ン セ ル (セ ッ ト)

6 3つのうちから選び、 カーソルボタンを押して▶を移動させる

デ ィ ス ク ニ ホ ソ ン シ マ ス カ ? (←, →)
* オ キ カ エ ▶ シ ン キ ョ ク * キ ャ ン セ ル (セ ッ ト)

オキカエ……録音してあった元の曲を消して再録音曲のみ保存
シンキョク……元の曲も再録音曲も両方とも保存
キャンセル……再録音曲を保存せず元の曲のままにする

7 セットボタンを押す

ジ ッ コ ウ チ ュ ウ

※フロッピーの場合は「ディスクヲトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

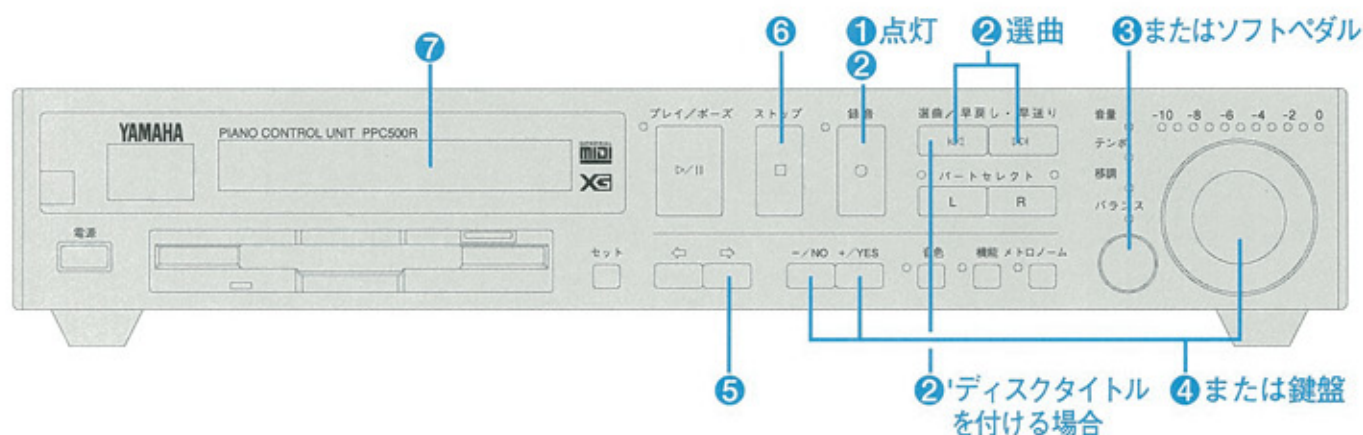
8 表示が変わったら、再録音終了

○○○○○ (00:00) →
S 0 43%



- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクヲトリダサナイデ」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、⑧の表示になってからフロッピーを取り出してください。
- メモリディスク(またはフロッピー)の残量が10%以下の場合、ディスプレイ右下に「DSK」と表示されます。
- ⑥⑦の操作は、リモコンではできません。
- スタンダードMIDIファイルフォーマット1の曲は再録音できません。

タイトル入力 曲名やディスクのタイトルを記録する



曲にタイトルを付ける場合

- 1** 録音ボタンを押して録音待機に入る

PIANO○○○.MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 70%

- 2** 曲にタイトルをつける場合は、選曲ボタンで曲を選び、もう1回録音ボタンを押す

カタカナや数字記号が入力できる状態

← カーソル →+モシ
←→カーソル



ディスクにタイトルを付ける場合

- 1** 録音ボタンを押して録音待機に入る

PIANO○○○.MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 70%

- 2** メモリディスクやフロッピーにタイトルをつける場合は、1曲目を選び、さらに選曲/早戻りボタン (K3) を押す (曲番号表示が消えるまで (K3) を押し続ける)

カタカナや数字記号が入力できる状態

← カーソル →+モシ
←→カーソル

- 3** 英文字を入力したい時は、セレクトボタンを押すか、ソフトペダル (一番左のペダル) を1回踏む

→+MOJI
←→CRSR



- 録音した曲やメモリディスク、フロッピーにタイトルをつける機能です。ディスクタイトル (メモリディスクまたはフロッピー) は電源オンやフロッピー挿入時に右から左へと表示されます。
- 入力できる文字数は、曲名16文字×2行、ディスクタイトル64文字まで。文字は、カタカナ、アルファベット (大文字・小文字)、数字・記号が使える、文字と文字の間に空白をあけることもできます。
- カタカナと数字・記号が入力できる「カナ数モード」と、アルファベットと数字・記号が入力できる「英数モード」があります。
- 一度入力したタイトルは自由に変更できます。



- あらかじめ仮の曲名 (「PIANO○○○.○○○」) がセットされていますが、内容がよく分かるタイトルをつけることをおすすめします。
- カーソルのある位置に文字が入力できます。カーソルを戻して書き直したり、カーソルを移動して空白を設けることもできます。
- カナ数モードと英数モードは、セレクトボタンまたはソフトペダル (一番左のペダル) を踏むごとに切り換わります。
- 録音済みの曲にタイトルを入力し、そのままプレイ/ポーズボタンを押して録音すると、再録音 (P40参照) になります。
- フロッピーのタイトルや曲名の入力中や⑦の表示中は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

【*鍵盤を使った文字入力】



- 鍵盤でのカタカナ入力はローマ字入力方式です。まず子音のキーを押し、母音のキーを押して、文字を入力します。

〈例：「ツ」の入力〉

まず子音の鍵盤を弾きます。タ行なので……中央のミ(E3)を弾く

次に母音の鍵盤を弾きます。ウ音なので……少し右のファ#(F3#)を弾く

- カナ数モードの「アイウエオヤユヨ」やアルファベットの小文字を入力する時は、中央のドより2オクターブ高いレ#(D5#)～ファ#(F5#)のいずれかを弾くことにより、大文字/小文字が切り換わります。

【*コントロールパネルによる文字入力】

- ダイヤル、－/NO、＋/YESボタンにより文字が次の順で現れます。

〈カナ数モード〉

アイウエオカキク… (中略) …ヤユヨラリルレロワン' ' ヲアイウエオヤユヨツ。[, . ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

〈英数モード〉

ABC… (中略) …XYZabc… (中略) …xyz ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

4 ダイヤル (または－/NO、＋/YESボタンまたは鍵盤) で文字を選ぶ

玉 ー十モシ' ←カーソル

5 カーソルボタン ⇄ を押してカーソルを移動し、次の文字を入力する

モ_ ←カーソル ー十モシ' ←カーソル

※④⑤を繰り返して入力します

※入力後演奏を録音する場合は、プレイ/ポーズボタンを押し、演奏を始めます(新曲の場合は、録音しないと曲名が記録されません)

6 入力し終わったらストップボタンを押す

シ' ッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

7 表示が変わったら、タイトル入力終了

モーツァルト (00:00) → S0 70%

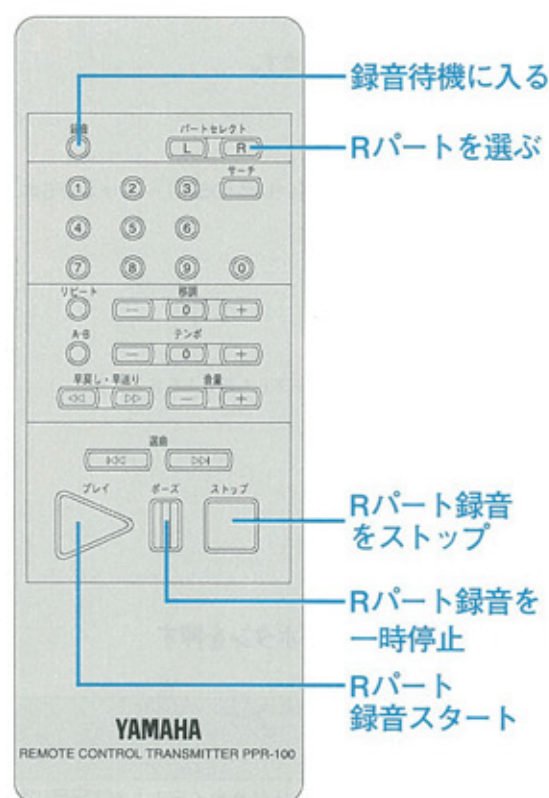
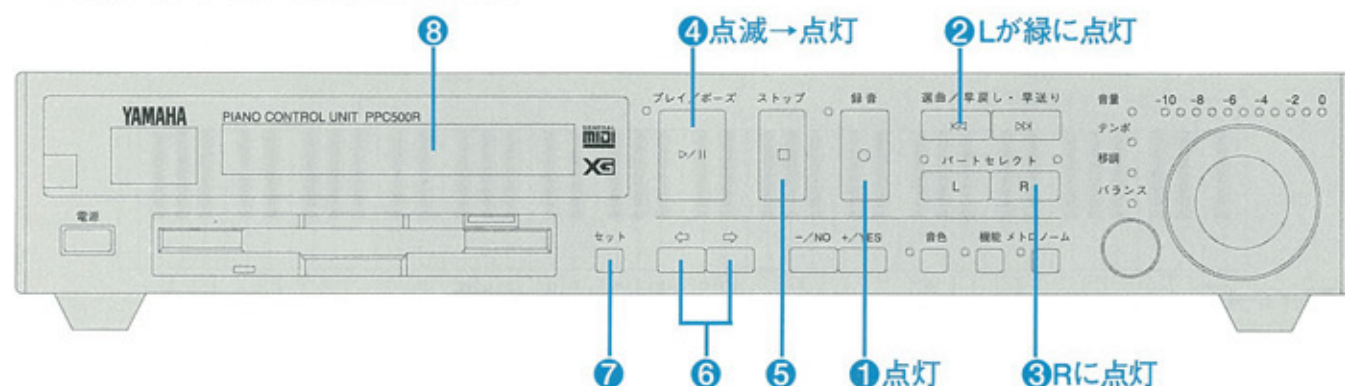


- 演奏の入っていない新しい曲番号に曲のタイトルだけ入力することはできません。
- ③～⑤の操作は、リモコンではできません。

LR録音(追加録音のしかた)

パートキャンセルできる曲の録音

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



◆Lパート(1パート目)の録音

新たに録音しようとするすると自動的にLパートが選ばれますので、まず左手パートを「基本的な録音のながれ」(P38)に従って録音してください。



◆Rパート(2パート目)の追加録音

1 録音ボタンを押して、録音待機に入る



2 選曲ボタン [K<] でLパートを録音した曲番号を選ぶ



- 1曲の中の低音側・左手パート(L)と、高音側・右手パート(R)を別々に録音できる機能です。LR録音した曲は、パートキャンセルして聴くことができます(Lに両手演奏を録音して、Rに装飾音のみ録音するといった使い方も可能です。また、Lパートに高音側、Rパートに低音側を録音することもできます)。
- 1パート目を録音する際、LRどちらのパートから先に録っても構いません。録音ボタンを押すと自動的にLパートが選ばれますが、先にRパートを録音したい場合は、Rパートボタンを押して下さい(これから録音するパートセレクトボタンは赤く点灯し、録音済みのパートセレクトボタンは緑に点灯します)。
- 2パート目の録音時(1パート目と同じ曲番号に録音)は、1パート目の演奏とヘダリングの再生に合わせて録音できます。



- ヘダル効果は、1パート目に録音され、2パート目のヘダリングは録音されない設定になっていますが、2パート目の録音時にヘダル効果を録り直したい時は、あらかじめ「LRセットアップ」(P46参照)を行います。
- 1パート目の録音のテンポを変更して、それに合わせて2パート目を録音することもできます(P54「録音テンポ変更」参照)。

[*パートセレクトとLR録音]

| | | |
|--|---------------------|---------|
| <div> <div>パートセレクト</div> <div> <div>L</div> <div>R</div> </div> </div> | Lを押して、赤く点灯させる | Lパートを録音 |
| <div> <div>パートセレクト</div> <div> <div>L</div> <div>R</div> </div> </div> | Rを押して、赤く点灯させる | Rパートを録音 |
| <div> <div>パートセレクト</div> <div> <div>L</div> <div>R</div> </div> </div> | L,Rともに押して、両方赤く点灯させる | スプリット録音 |

3 曲番号を確認し、パートセレクトのRボタンを押す

PIANO○○○. MID (00:00) →
S0 56%

4 プレイ/ポーズボタンを押す (ピッと音がします)、Rパート録音をスタート

※Lパートの再生に合わせて弾き始めます。

曲の経過時間を表示

○○○○○

(00:02)

■ S0 55%

Rパートの録音音量レベル表示

5 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

ディスクニ ホソ`ンシマスカ? (←, →)
▶オキカエ *シンキョク *キャンセル (セット)

[Lパート(既録音)にRパートを追加録音した場合]

| | 操 作 | 記録されるパート | 曲番 |
|--------------------------------------|-------|----------|-------|
| L・RパートをLR曲として保存 | オキカエ | L+R | 元の曲番 |
| Lパートは元のままで、L・Rパートの 入ったLR曲を新曲として保存 | シンキョク | L+R | 新しい曲番 |
| | | L | 元の曲番 |
| Lパートを元のまま保存し、Rパートは保存しない | キャンセル | L | 元の曲番 |

6 3つのうちから選び、カーソルボタンを押して▶を移動させる

ディスクニ ホソ`ンシマスカ? (←, →)
*オキカエ ▶シンキョク *キャンセル (セット)

7 セットボタンを押す

シ`ッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクヨトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

8 表示が変わったら、Rパート録音終了

○○○○○ (00:00) →
S0 XG



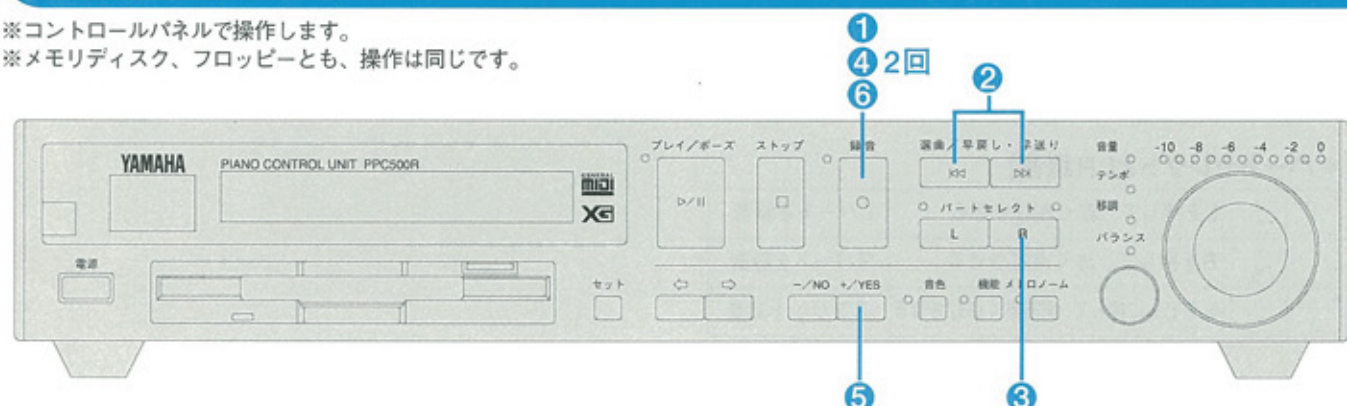
- 録音中や⑥の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 1パート目の録音ですでに押されている鍵盤を、2パート目の録音時にその上から押し続けたりしても再生できません。
- ⑤のオキカエ、シンキョク、キャンセルについて
- ⑤⑥の操作はリモコンではできません。

LRセットアップ

ピアノの2パート目の録音時に録音済みのペダルを録り直す

※コントロールパネルで操作します。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



2パート目(R)の録音時にペダルを録り直したい

1 録音ボタンを押して、録音待機に入る

○○○○○ (00:00) →
S0 78%

2 選曲ボタンで録り直したい曲を選ぶ

02 PIANO○○○.MID (00:00) →
S0 78%

↑ 録り直したい曲番号

3 曲番号を確認し、パートセレクトのRボタンを押す

PIANO○○○.MID (00:00) →
S0 78%

4 録音ボタンをもう2回押す

ペダル ロクオン ▶OFF (←, +)
ピアノ モニター =ON (←, →)

※ペダルロクオン…再録音時にペダル演奏を録音(置き換え)するかどうかの設定

※ピアノモニター…再録音中に再生パート(Rパートを再録音するならLパート)をピアノでモニターするかどうかの設定

5 +/-YESボタンを押して、「ペダルロクオン ▶ON」と表示させる

ペダル ロクオン ▶ON (←, +)
ピアノ モニター =ON (←, →)

6 ふたたび録音ボタンを押して、録音待機に戻る

○○○○○ (00:00) →
S0 78%

7 2パート目の録音を行い、保存します (P44「LR録音」参照)。



●2パート目の録音時に、1パート目のペダリングを取り消し、ペダル効果を録り直す機能です。操作は1パート目をL、2パート目をRとして説明していますが、LRのどちらから先に録っても機能は同じです。

●同じ設定画面で、1パート目の演奏をピアノ音で再生する／しないの設定も可能。内蔵音源で1パート目を再生させたい場合は、「ピアノモニター=OFF」を選択します。



●「ペダルロクオン=ON」なら、ピアノ電子音で鳴っている2パート目の演奏に対してペダリングが有効です。ペダル録音=OFFなら、ピアノ電子音で再生されている1パート目のペダルデータが有効です。

●「ピアノモニター=ON」なら、1パート目の再生も2パート目の演奏もピアノ電子音が発音します(1パート目の再生の鍵盤の動きはキャンセル可能(P4参照))。「ピアノモニター=OFF」の時、1パート目は内蔵音源でのみ発音可能、2パート目の演奏はピアノ電子音が発音します。



●ペダルロクオン、ピアノモニターの設定は録音が終わると解除され、元の設定(④)に戻ります。

LRスプリット録音

鍵盤をある音を境に2パートに分け、同時に録音する

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。

4点減→点灯 1点灯します

2赤く点灯します

3境となる鍵盤を押す

5演奏します

録音待機に入る
両パートを選択
LRスプリット録音をストップ
録音を一時停止
LRスプリット録音スタート

LRともに点灯

パートセレクト

● PIANO001.MID (00:00) → シンキョク ロクオン S0 99%

2 パートセレクトボタンを1つずつ押し、LRを両方点灯させる

スフ^{*} リットホ^{*} イント ヲ エランテ^{*} クタ^{*} サイ
L [C3] R (ケンパ^{*} ン ー、+)

3 境となる鍵盤を弾く

スフ^{*} リットホ^{*} イント ヲ エランテ^{*} クタ^{*} サイ
L [D3] R (ケンパ^{*} ン ー、+)

押した鍵盤番号を表示

4 プレイ/ポーズボタンを押す (ピッと音がします)

PIANO001.MID (00:00) 98%

5 演奏を始めた時点から、LRスプリット録音スタート (P38「基本的な録音のながれ」参照)。

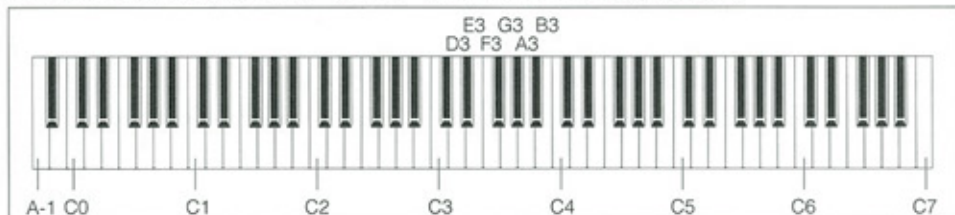


- 1回の録音で1キーを境にLRに分けて録音できる機能。パートキャンセルして聴くことができるLR録音のひとつです。
- スプリットポイント(境となる1キー)の設定範囲は、A-1～C7。ピアノ鍵盤のどのキーでも境に指定できます。境の音はLパート側になります。



- パートセレクトボタンは、LとRを1つずつ押します。どちらが先でも構いません。
- ふつうの録音と同じように、録音を一時停止することもできます。
- ③のスプリットポイントの指定は、ダイヤル、-/NO、+/YESボタンでも操作できます。

[鍵盤と音名]

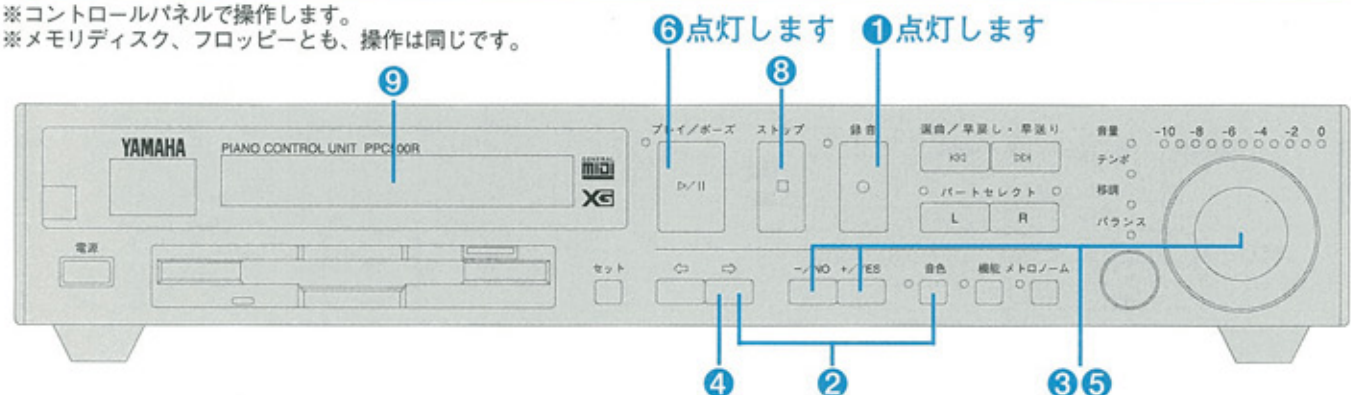


- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクヲトリダサナイデ」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

アンサンブルパートの録音

内蔵音源を使ってピアノ以外のパートも録音する

※コントロールパネルで操作します。
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



⑦演奏します



停止中に操作します

1 録音ボタンを押して録音待機に入る



2 カーソルボタン⇐⇒または音色ボタンを押して、トラック選択画面を呼び出す



3 ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで、録音トラックを選ぶ

録音トラック番号



4 カーソルボタン⇐⇒を押して設定したい項目に▶を移動する



- アンサンブルパートの録音は、まずトラックを選び、そこにどんな楽器パートを録音するか内蔵音源の音色で指定し、パート全体の音量バランス(Vol)を決め、1度に1パートずつ録音します。
- フロッピーを入れないとメモリディスクに、フロッピーを入れておくとフロッピーに録音されます。
- 最初からアンサンブルパートを録音することも、ピアノパートやリズムパートを録音した後にパートを重ねていくこともできます(再録音(P40)になります)。録音済みのパートの再生を聴きながら、それに合わせて録音していきます。
- 録音トラック・音色・音量の設定範囲

| | |
|----------|---|
| 録音トラック番号 | 01~16.....録音するトラック番号を選びます |
| 音色 | 001~128.....内蔵音源の音色番号を指定します(音色の一覧表はP84) |
| 音量 | Vol=000~127.....パート全体の音量、0は無音、初期値=100 |

※E-SEQ曲の場合は、トラック3はハーフペダル専用パートです。



- ③でL、Rパートを選択する時は、パートセレクトボタンでも操作できます。
- ⑤でピアノを弾くと表示中の音色・音量で音源が鳴るので、音色を確かめながら設定できます。
- 録音済みトラックを選び、音色・音量を設定(⑤)後ストップボタンを押せば、音色・音量だけを変更できます。
- 2パート目以降の録音では、⑥で録音結果を保存するかどうかをたずねてきます。

ディスクに ホソ シンキョク * (←, →)
▶オキカエ * シンキョク * キャンセル (セット)

「オキカエ」の場合は録音したパートが加わった曲のみが保存されます。

「シンキョク」の場合は、元の曲はそのまま、録音したパートが加わった曲が新たに作成されます。

「キャンセル」の場合は、録音結果は保存されません(元の曲はそのままです)。

●録音の一時停止や、メトロノーム録音(P52参照)、録音済みトラックがある場合は録音テンポ変更(P54参照)も可能です。

5 ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで、内蔵音源の音色・音量を設定する



※ピアノの鍵盤を弾いて音源の音色・音量を確認できます。

6 プレイ/ポーズボタンを押す (ピッと音がします) 演奏を始めてください



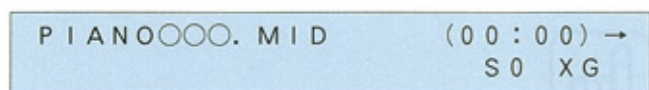
7 演奏を始めた時点から、アンサンブル録音スタート

※⑦は、新曲録音の場合です。録音済みパートがある場合は、⑥で曲の再生が始まります。

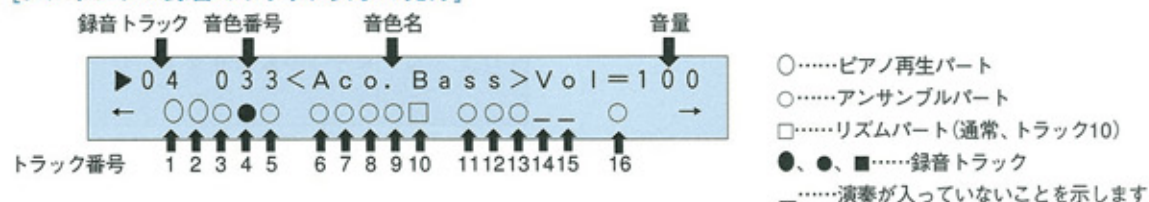
8 演奏が終わったら、ストップボタンを押す



9 表示が変わったら、録音終了



[アンサンブル録音のトラック表示の見方]



[ピアノパートセット]

- ピアノパートセットとはピアノで再生するトラックを変更する機能です。SMFフォーマット曲では、録音時に01~16、##を自由に選ぶことができます(「##」はピアノを鳴らさない設定です)。
- E-SEQフォーマット曲では、L=01、R=##の設定が可能です(ピアノパートが1トラックの場合の設定です)。
- ピアノパートセットを行うと、変更は曲データとして記録されます。
- 変更後にストップボタンを押せば、ピアノパートセットだけを変更することができます。

●②のトラック設定画面でカーソルボタン<=>を押す



●カーソルボタン<=>でL、Rを選び、ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンでトラックを変更する



●トラック選択画面に戻るにはカーソルボタン<=>を押す

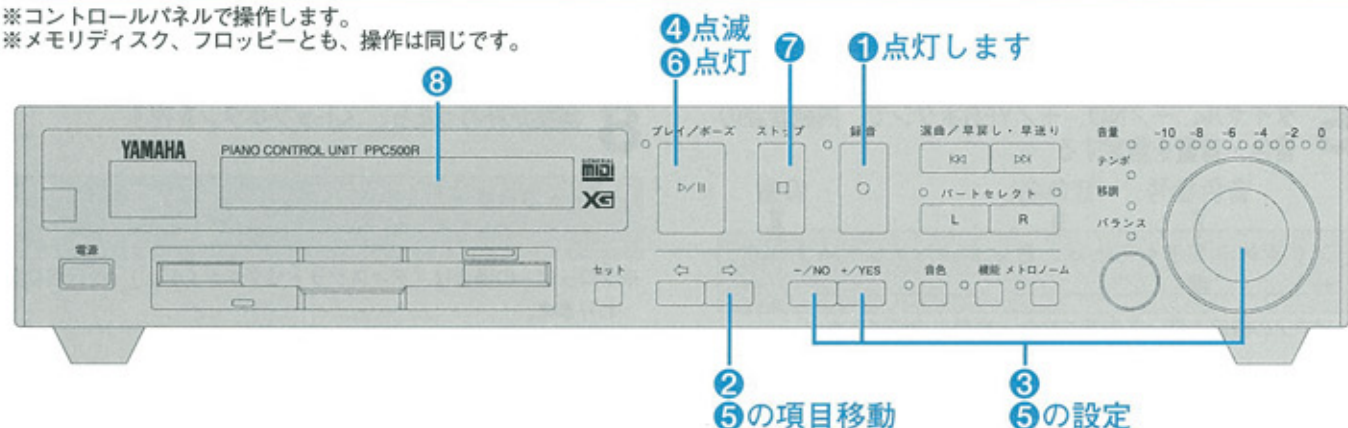


- フロッピーに録音中や⑨の表示中に、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、曲名表示になってから取り出してください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする「ディスクプロテクトがかかっています!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフにしてから録音してください。

リズムトラックの録音

内蔵音源を使ってリズムパートを録音する

※コントロールパネルで操作します。
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



曲を選び、停止中に操作します

1 録音ボタンを押して録音待機に入る



2 カーソルボタン⇔または音色ボタンを押して、トラック選択画面を呼び出す



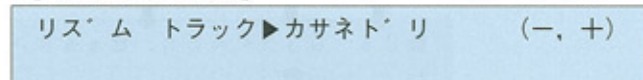
3 ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで10トラックを選ぶ



「■」はリズムトラックが選択されていることを表す
※ピアノの鍵盤を弾いて音源の音色・音量を確認できます。

4 プレイ/ポーズボタンを押す(ピッと音がします) と次の画面を表示

《時間録音の場合》



※「カサネドリ」とは、同じトラックにリズムを追加する機能です。

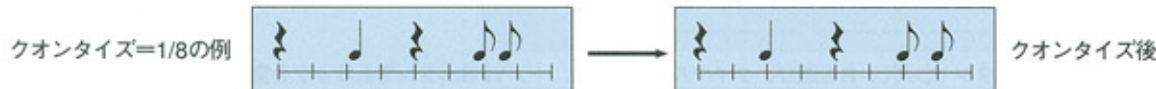
《メトロノーム録音の場合》



※「クオンタイズ」とは、メトロノーム録音曲で演奏時のリズムの乱れをビタリと拍子に合わせる機能です。



- 通常、10トラックをリズムパートとして使用していますが、10トラック以外でもドラム音色を指定することにより、リズムトラックとして使うことができます。
- フロッピーを入れないとメモリディスクに、フロッピーを入れておくとフロッピーに録音されます。
- メトロノーム録音曲では、演奏時のリズムの乱れをビタリと拍子に合わせる「クオンタイズ」も設定できます。



●クオンタイズの設定範囲

| | |
|-----|---|
| 拍子 | 1/4、1/6、1/8、1/12、1/16 ……設定された拍子の位置に録音されます |
| OFF | ……鍵盤をたたいた位置に録音されます |

●音量の設定範囲

| | |
|-----------|-----------------------|
| Vol=0~127 | パート全体の音量、0は無音、初期値=100 |
|-----------|-----------------------|

- 「時間録音」………(00:00) 分・秒で時間経過を記録・表示する録音方法
- 「メトロノーム録音」…(001-01) 小節・拍で時間経過を記録・表示する録音方法

- 5** -/NO、+/YESボタン、ダイヤルで「カサネドリ」か「オキカエ」かを選ぶ
メトロノーム録音の場合は、さらにカーソルボタン⇨で「クオンタイズ=OFF」と表示させ、+/YESボタン、ダイヤルでクオンタイズの値を設定する

《メトロノーム録音の場合》

リズムトラック▶カサネドリ (一、十)
クオンタイズ = 1 / 8 (←、→)

- 6** もう一度プレイ/ポーズボタンを押すと録音を開始演奏を始めてください

- 7** 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

シッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

- 8** 表示が変わったら、リズムトラックの録音終了

(00:00) →
S O X G

Point

- ③で、10トラックを選択すると、内蔵音源のリズムキットのみが選択できるようになります。
- ③で、カーソルボタン⇨で右に移動し、ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで打楽器キットを変更することもできます(P85「ドラムキット一覧表」参照)。
- ⑤でピアノを弾くと表示中のドラムキットが鳴るので、打楽器音と鍵盤を確かめながら設定できます。
- リズムトラック用の音色<ドラムキット>は、通常の音色が種類の楽器音を鍵盤によって音の高さを変えて発音させるのとなり、多数の打楽器音が構成され、各鍵盤にそれぞれの打楽器音が割り当てられています。
- ドラムのパートは、通例1回の録音で1つか2つの打楽器を演奏し、再録音ですでに録音した打楽器音を聴きながら「カサネドリ」(重ね録り、オーバーダビング)によりリズムを追加していきます。ドラムパートの2回目以降の録音では(すでに他のパートが録音されている)、⑦で、録音結果を保存するかどうかをたずねてきます。

ディスクニ ホソシマスカ? (←、→)
▶オキカエ *シンキョク *キャンセル (セット)

「オキカエ」の場合は録音した打楽器音が加わった曲のみが保存されます。
「シンキョク」の場合は、元の曲はそのまま、録音した打楽器音が加わった曲が新たに作成されます。
「キャンセル」の場合は、録音結果は保存されません(元の曲はそのままです)。



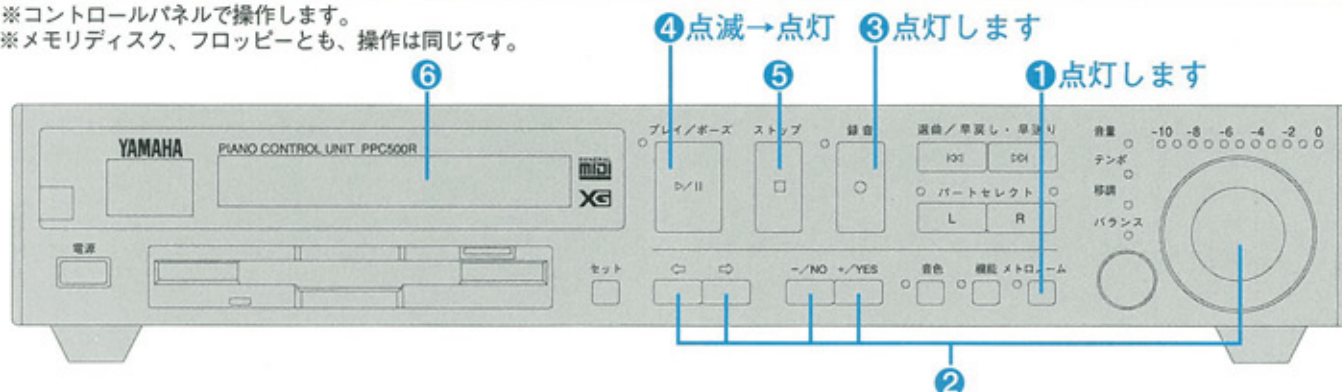
- ⑤で「カサネドリ」でなく「オキカエ」を選ぶと、これまでにあったドラムトラックのデータは破棄されます。
- 録音中や⑦の表示中に、絶対にフロッピーを取り出したり電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、曲名表示になってから取り出してください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする「ディスクニプロテクトガカッタイマス!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフにしてから録音してください。

メトロノーム録音

メトロノームに合わせて演奏を録音

※コントロールパネルで操作します。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 メトロノームボタンを押す (メトロノームが鳴り出します)

==メトロノーム== (ー, +, ←, →)
クリック=ON ▶ 1 1 7 > 4 / 4

2 速さと拍子を設定する
カーソルボタンで設定項目を選び、ダイヤル、ー/NO、+ /YESボタンで設定する

==メトロノーム== (ー, +, ←, →)
クリック=ON ▶ 1 4 0 > 4 / 4

↑ 速さ ↑ 拍子
電子メトロノーム音を
発音する (ON) / しない (OFF) を選択



- メトロノーム録音とは、曲の経過時間でなく、小節・拍で演奏データを管理する録音方法です。録音時には、内蔵の電子メトロノーム音を聴きながら、演奏することができます。ディスプレイやダイヤル上部の点滅でもテンポ・拍子を知ることができます。
- 設定範囲は ♩=30~400 (SMF曲) / ♩=30~280 (E-SEQ曲)、1/4~3/4 拍子です (P58「メトロノーム機能」参照)。



- メトロノームを鳴らさずに、ディスプレイや表示のみでテンポをカウントさせることもできます (クリック=OFF)。
- ②で、ー/NO、+ /YES ボタンを同時に押すとそれぞれ初期値に戻ります。



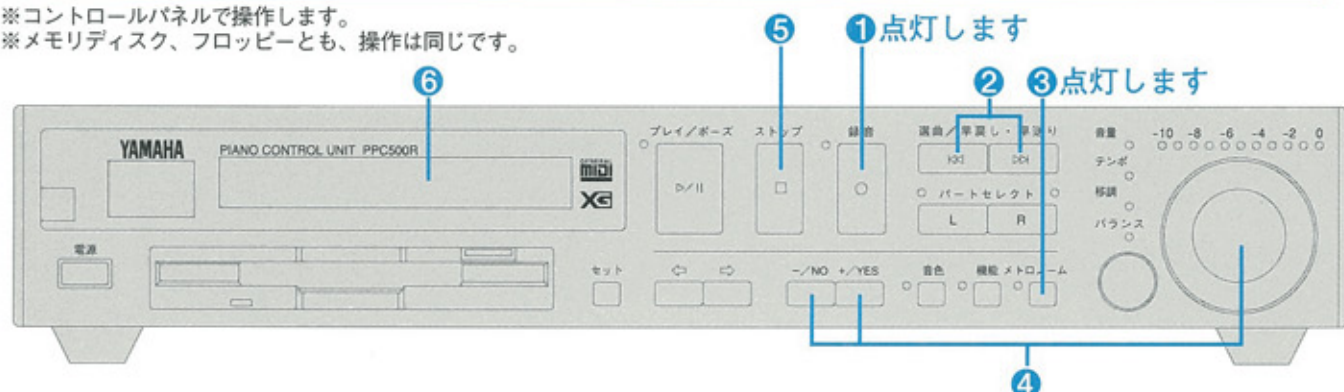
- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクフトリダサナイデ」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出ししたり、電源を切ったりしないでください。
- メトロノーム録音した曲は、再録音時、時間録音の曲に変更することはできません。
- メトロノームの設定をして録音ボタンを押した後で、時間録音に戻りたい場合は、プレイ/ポーズボタンを押す前に、もう1回メトロノームボタンを押すと、通常の時間録音待機になります。



- メトロノーム音は、ヘッドフォンまたは補助出力端子 (AUX OUT) に接続したスピーカーでお聴きになれます。
- メトロノーム設定画面でカーソル◀▶を押して次画面を呼出し、メトロノームの音量を設定することができます (P58「メトロノーム機能」参照)。
- ①②で、2行目の右下に次画面があることを表す「→」が加わります。

録音テンポ変更 すでに録音した曲を速さだけ変更する機能

※コントロールパネルで操作します。
※メモリスディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



- 1 録音ボタンを押して、録音待機に入る
- 2 録音テンポを変更したい曲の曲番号を選ぶ
- 3 メトロノームボタンを押す

《時間録音の場合》

テンポ ▶ 000% (00:00)

《メトロノーム録音の場合》

==メトロノーム== (001-1)
クリック=ON ♪▶117 >4/4

- 4 ▶で示されている録音テンポを、ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで変える

《時間録音の場合》

テンポ ▶+005% (00:00)

《メトロノーム録音の場合》

==メトロノーム== (001-1)
クリック=ON ♪▶123 >4/4

- 5 変更し終わったら、ストップボタンを押す

ジッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

- 6 表示が変わったら、録音テンポ変更終了

PIANO○○○. MID (00:00) →
S0 80%



- すでに録音した曲を、速さだけ変更する機能です。変更後のテンポが、再生する際のオリジナルテンポになります。
- 66～+97%の範囲で、1%ずつ(メトロノーム録音の場合は30～400(SMF曲)/30～280(E-SEQ曲)の範囲で♪=001ずつ)調節できます。



- ④で- / NO、+ / YESボタンを同時に押すと、時間録音曲なら000%、メトロノーム録音曲なら♪=117に戻ります。



- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクラトリダサナイデ!」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- サイレントアンサンブルピアノは、実際に鍵盤を動かして演奏を再現するため、早過ぎるテンポを設定すると、音抜けする場合があります(ピアノ電子音、内蔵音源使用時は音抜けしません)。

楽しみ方を広げるLR録音

- LR録音した曲は、1曲の中にL、Rの2パートが録音されています。LR録音対応ソフトやLR録音した曲が選曲されると、パートセレクトボタンが2つとも緑に点灯します。

| | | |
|---|------------|-----------|
| L | Left (左手) | 低音側・左手パート |
| R | Right (右手) | 高音側・右手パート |

- 2つのパートを別々に再生できるのがパートキャンセル機能。ふつうの録音で録った曲は1パートしかないので、パートキャンセルできません。
- LR録音なら、連弾曲をひとりで仕上げたり、左手だけ集中練習したりと、使いこなしもいろいろ。演奏はフロッピーで持ち運びできるので、遠いところに住んでいる方との合奏なども楽しめます。
- 2つのパートを別々に録音する時、L、Rどちらのパートから先に録ってもかまいません。ペダリングは1パート目に録音されますが、2パート目で録音し直したい場合は、ペダルセットアップを使います。

| | | | | |
|-----|------|-----|-------|---------------|
| ペダル | ロクオン | OFF | 鍵盤演奏 | 1回目の演奏+2回目の演奏 |
| | | | ペダリング | 1回目のペダリング |
| ペダル | ロクオン | ON | 鍵盤演奏 | 1回目の演奏+2回目の演奏 |
| | | | ペダリング | 2回目のペダリング |

- LR録音してしまってから、再録音で1パートだけ録音し直すこともできます。再録音を行う場合は、L、Rどちらのパートを直すのかを指定しないと、下の表示になります。直したい方のパートセレクトボタンを押して、赤く点灯させれば、引き続き操作できます。

ロクオン トラックヲ エランテ` クタ` サイ

[*参照ページ]

◆LR録音……P44

◆LRスプリット録音……P47

メトロノーム

メトロノーム機能のご紹介

「録音」の章でもご紹介したように、内蔵の電子音メトロノームを使って録音すると、曲の経過時間が、小節／拍で記録・表示されます。メトロノームの速度はもちろん、サイレント時には音量も調節できます。この章では、自動演奏の停止中にメトロノームを使う方法を中心に説明しています。

| | | |
|----------------|----------|-----|
| 内蔵メトロノームの使い方 | メトロノーム機能 | P58 |
| メトロノームの設定範囲 | メトロノーム機能 | P58 |
| メトロノームを使って録音する | メトロノーム録音 | P52 |

メトロノームの使い方

内蔵メトロノームを使ってみましょう

※メトロノーム設定はコントロールパネルで行います。



自動演奏の停止中に
メトロノームを鳴らす

1 メトロノームボタンを押す



メトロノーム音を発音する(ON)/
しない(OFF)の選択

2 ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで速さを設定する



3 カーソルボタン⇐で「▶4/4」と表示させる



4 ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで拍子を設定する



〈サイレント機能使用時〉

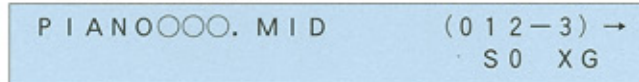
5 カーソルボタン⇐で次画面を表示させ、ダイヤル、-/NO、+/YESボタンでメトロノーム音量を設定する



※カーソルボタン⇐で前画面に戻ります。

※サイレント機能使用時のみ「Vol=100」と表示され、メトロノーム音量が設定可能です。

6 もう1回メトロノームボタンを押せば、メトロノーム解除



- メトロノーム音とダイヤル上部の点滅で、拍子・テンポを知らせます。
- メトロノームの設定範囲

| | |
|---------|-------------------------------------|
| メトロノーム音 | ON (発音する)、OFF (発音しない) |
| テンポ=♩ | 30~400 (♩=001ステップ) *数値は1分間の拍数です |
| 拍子 | 1/4、2/4、3/4、4/4、5/5、6/6、7/6、8/4、9/4 |
| 音量 | 50~127 (サイレント機能時のみ音量設定可能) |

※メトロノーム録音時も設定範囲は同じです。

●拍子はすべて4分音符で、テンポも常に♩=000でカウントします。拍子を8分音符で数えるものや、♩=000などのテンポは換算してください。



- ①~④の画面でカーソルボタン⇐を1回押し、ダイヤル、-/NOボタンで「クリック=OFF」とすれば、メトロノームを鳴らすずに、ディスプレイ上部の点滅のみでテンポをカウントさせることもできます(クリック=OFF)。
- メトロノームボタンが点灯していれば、いつでも設定を変更できます。
- ③⑤で、-/NO、+/YESボタンを同時に押すと、①の初期値に戻ります。



●内蔵電子音源を使ったメトロノームが鳴ります。ヘッドフォンまたは補助出力端子(AUX OUT)に接続したスピーカーでお聴きになれます。

●左ページ①～④で、2行目の右下に次画面があることを表す「→」が加わり、⑤でメトロノームの音量が設定できます。



●電源オフで速さと拍子は初期値に戻りますが、音量は記憶されています。

[ダイヤル上部の点灯による拍の表示]

次のように点滅し、テンポ・拍を知らせます。

1拍目 -10 -8 -6 -4 -2 0
 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

2拍目 -10 -8 -6 -4 -2 0
 ○ ○ ○ ○ ● ● ● ● ● ●

3拍目 -10 -8 -6 -4 -2 0
 ● ● ● ● ● ○ ○ ○ ○ ○

ディスクの使いこなし

メモリディスクとフロッピー

- サイレントアンサンブルピアノでは、2種類の「ディスク」が使えます。メモリディスクとフロッピーディスクです(この取扱説明書では、フロッピーディスクは「フロッピー」と表記)。ディスプレイに「ディスク」と出る場合は、両方を指しています。
- <メモリディスク>は実際には本体の中の半導体で、フロッピーディスクのように取り出すことはできません(もちろん電源をオフしても曲は覚えています)。
- ふだんの録音にはこのメモリディスクをお使いになると便利です。保存や選曲などもスピーディです。まずメモリディスクに録音しておき、たまってきたら曲コピーでテーマごとにフロッピーに整理・保存し(メモリディスク内の不要な曲は曲消去します)、必要に応じてフロッピー内の曲順を曲並び替えて入れ換えます。
- 逆に、複数のフロッピーや市販ソフトからメモリディスクに曲をコピーし、聴きたい曲だけを好きな順番に並べたオリジナルプログラムを作成しておく使い方もあります。フロッピー入れ換えの手間が省けますし、うっかり別の曲を再生してしまうこともありませんから、パーティーやイベントがスマートに行えます(市販ソフトからメモリディスクへのコピーは可能ですが、メモリディスクからフロッピーへのコピーはできません)。

フロッピーディスクのご注意

- 本製品に使う3.5インチ・フロッピーディスクには、容量の違いで、2HDと2DDの2種類があります。2HDは2DDの約2倍のデータを記録できます。2HDは消去防止以外にもう1つ穴があいており、2DDと区別できます。
- 2HDと2DDのいずれも同じように使うことができますが、いくつか注意が必要です。旧機種のサイレントアンサンブルピアノやピアノプレーヤで使えるのは2DDのみです。これらの機種とフロッピーのやりとりをする場合は、2DDを使います(2HDと2DDの間で曲コピーは可能です)。

タイトルを付けましょう。

- 録音を行うと仮の名前がセットされますが、内容がよく分かるようタイトル入力で題名を付けておきましょう。最大32文字までOKですから、曲名だけでなく、演奏者や録音日も書き込めます。もちろん、後から修正することもできます。
- 挿入時に表示される、フロッピーのタイトルもぜひ入力しましょう。プレゼントのフロッピーにメッセージを入れておくのもアイデアですね。
- 大切な演奏の記録を保管したフロッピーは、ディスクコピー時などにうっかり内容を消してしまわないよう、消去防止をオンにしておきます。
- フロッピーのラベルには、ディスクタイプも記入しておきましょう。

[*参照ページ]

- ◆タイトル入力……P42
- ◆曲コピー……P64
- ◆曲並び替え……P66
- ◆ディスクコピー……P68
- ◆フォーマットについて……xvii、P36、P72
- ◆メモリディスクとフロッピー……xvi

※フロッピーディスクの取り扱いは、「フロッピーディスクについて」(xiv)をよくお読みください。

ディスク

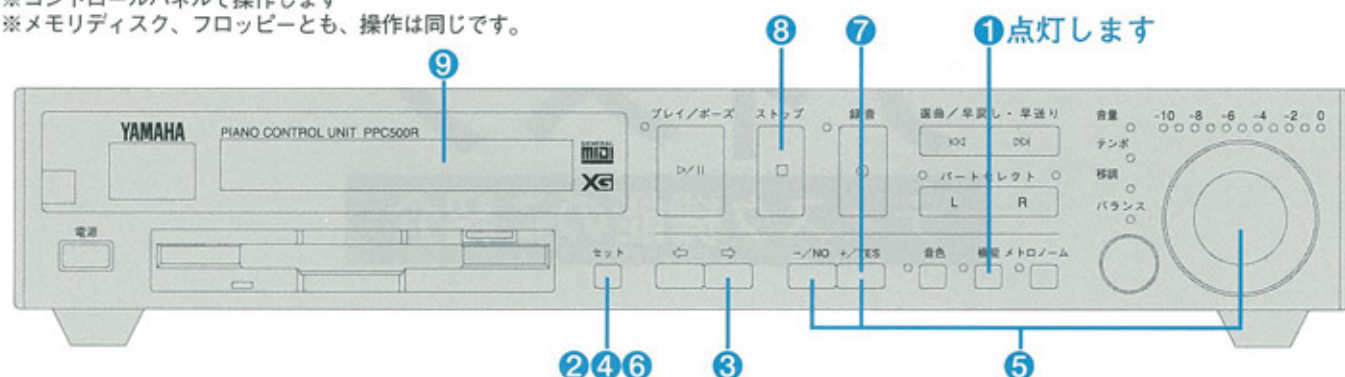
ディスク機能のご紹介

本章では、曲の消去やコピー、並び替えなど曲単位での操作と、フロッピーやメモリディスクの内容をまるごとコピーする機能などをご紹介します。

| | | |
|----------------------------|------------|-----|
| 要らない曲を消したい | 曲消去 | P62 |
| 曲の複製をつくりたい | 曲コピー | P64 |
| 保存用のフロッピーをつくりたい | 曲コピー | P64 |
| メモリディスクの曲をフロッピーに移したい | 曲コピー | P64 |
| 曲の順番を並び替えたい | 曲並び替え | P66 |
| フロッピー全体をコピーしたい | ディスクコピー | P68 |
| フロッピー全体を消去したい | フォーマットのしかた | P36 |
| メトロノーム録音した曲を 時間録音曲に変換する | カウンター変更 | P70 |

曲消去 要らない1曲を消す

※コントロールパネルで操作します
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



停止中に操作します

1 機能ボタンを押す

▶ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

2 「▶ディスク」と表示されていることを確認して セットボタンを押す

▶フォーマット *キョク ショウキョ
*キョク コビター *キョク ナラビカエ →

3 カーソルボタン⇐⇒を押して「▶キョク ショウキョ」と表示させる

*フォーマット ▶キョク ショウキョ
*キョク コビター *キョク ナラビカエ →

4 セットボタンを押す

| | |
|--|--------|
| [キョク ショウキョ] | (一, +) |
| ▶ 01 ○○○○○ | (セット) |
| ↑ ↑ | |
| 曲番号 曲名(曲名がない場合はファイル名) | |

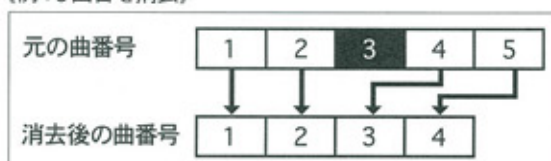
5 -/NO、+/YESボタン、ダイヤルで消去する曲を選ぶ

| | |
|-------------|--------|
| [キョク ショウキョ] | (一, +) |
| ▶ 03 ○○○○○ | (セット) |



●メモリディスクやフロッピーに録音された要らない曲を、1曲単位で消す機能です。消去するとその曲番号や曲名も、演奏と一緒に消去されます。

《例：3曲目を消去》



※4曲目以降の曲番号は繰り上がって「元の曲番号-1」曲目となります。

6 セットボタンを押す

[キョク ショウキョ]
03 ○○○○ ○イテ スカ?
(YES, NO)

7 +/YESボタンを押すと曲消去開始

シ ッコウチュウ

※-/NOボタンを押せば、曲消去をキャンセルして③の表示に戻ります。

※フロッピー内の曲を消去中は2行目に「ディスクワトリダサナイデ!」が表示されます。

8 次の表示になったら、ストップボタンを押す

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ タンヲ オシテクタ サイ

9 曲名表示に変わったら、曲消去終了

○○○○○ (00:00) →
S O X G



●フロッピーの場合は、③の表示までに入れておきます。

⑦の表示で-/NOボタンを押せば、曲消去をキャンセルして③の表示に戻ります。

●大事な演奏を誤って消さないためには、「タイトル入力」(P42)したり、フロッピーのプロテクトをオンにしておくことをおすすめします(xv「フロッピーディスクについて」参照)。

●ディスク内の全曲を消去したい時には、ディスクフォーマット(P36「フォーマットのしかた」)が便利です。



●曲消去を始めると(⑦で+/YESボタンを押すと)、途中で止めることはできません。その間にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。

●プロテクトがオンになっているフロッピーは曲消去できません(xv参照)。

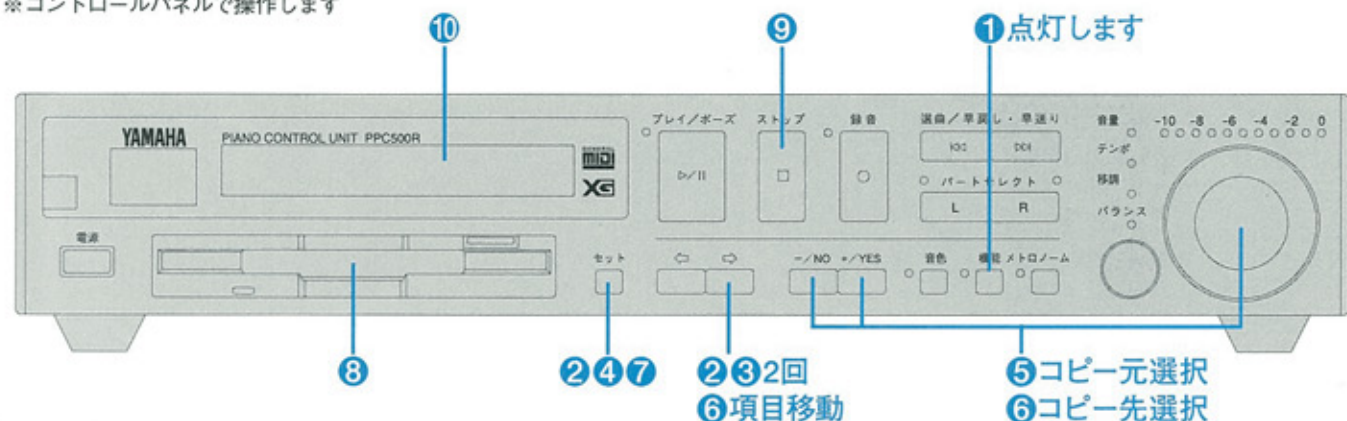
●ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン(またはストップボタン)を押して消灯させます。

●「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ディスクを曲消去することはできません。

●複数の曲を一度に消去することはできません。

曲コピー 曲の複製をつくる

※コントロールパネルで操作します



停止中に操作します

1 機能ボタンを押す

▶ ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

2 「▶ ディスク」と表示されていることを確認して セットボタンを押す

▶ フォーマット *キョク ショウキョ
*キョク コピー *キョク ナラビ カエ →

3 カーソルボタン⇐⇒を2回押して「▶ キョク コピー」と表示させる

*フォーマット *キョク ショウキョ
▶ キョク コピー *キョク ナラビ カエ →

4 セットボタンを押す

コピー先表示

[キョク コピー] →ホカノ ディスク (セット)
▶ 01 ○○○○
曲番号 曲名(曲名がない場合はファイル名)

5 -/NO、+/YESボタン、ダイヤルで コピーする曲を選ぶ

[キョク コピー] →ホカノ ディスク (セット)
▶ 03 ○○○○



- 1曲単位でコピーする機能です。同じメモリディスクやフロッピーの中でも、メモリディスクとフロッピーの間でも、フロッピーと別のフロッピーの間でもコピーできます。
- コピーされた曲は、最後の曲番号になります。



- フロッピーをコピー元にする場合は、④の表示までに入れておきます。挿入されていない場合は、メモリディスクがコピー元になります。
- ⑦で、「オナジディスク」「ホカノディスク」「メモリディスク」の3種類からコピー先を選びます(コピー元がメモリディスクの場合「オナジディスク」は表示されません)。フロッピーからメモリディスクへコピーする場合は「ホカノディスク」ではなく、「メモリディスク」を選びます。
- フロッピーから他のフロッピーへのコピー時に、コピーする曲のデータ容量によっては、次のような表示が出る場合があります。ディスプレイの指示に従って、コピー先のフロッピーとコピー元のフロッピーを入れ換えてください。

コピー元 モノ ディスク イレテクター サイ
03 →ホカノディスク

6 カーソルボタン⇐を押して「▶ホカノディスク」と表示させ、コピー先を- / NO、+ / YESボタン、ダイヤルで選ぶ

[キョク コピー -] ▶ホカノ ディスク
> 03 ○○○○○ (セット)

| コピー先表示 | コピー元 | コピー先 |
|---------|---------|-----------|
| オナジディスク | フロッピー | → フロッピー |
| ホカノディスク | フロッピー | → フロッピー |
| | メモリディスク | → フロッピー |
| メモリディスク | フロッピー | → メモリディスク |
| | メモリディスク | → メモリディスク |

7 セットボタンを押す

〈ホカノディスクの場合〉

コピー - サキノ ディスクヲ イレテクタ サイ
03 →ホカノディスク

※コピー先に「メモリディスク」を選んだ場合、セットボタンを押せば、曲コピーが開始されます。

8 コピー先のフロッピーを入れると曲コピー開始

70 シッコウチュウ ■■■□□□□□□
ディスクヲ トリタ サナイテ !

※曲番号表示部とディスプレイにコピー残量が表示されます。図では、残量が70%。「00」（ディスプレイは全て■）でコピー終了。

※メモリディスク内でコピーを行う場合は、2行目は表示されません。

9 次の表示になったら、ストップボタンを押す

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホタンヲ オシテクタ サイ

10 曲名表示に変わったら、曲コピー終了

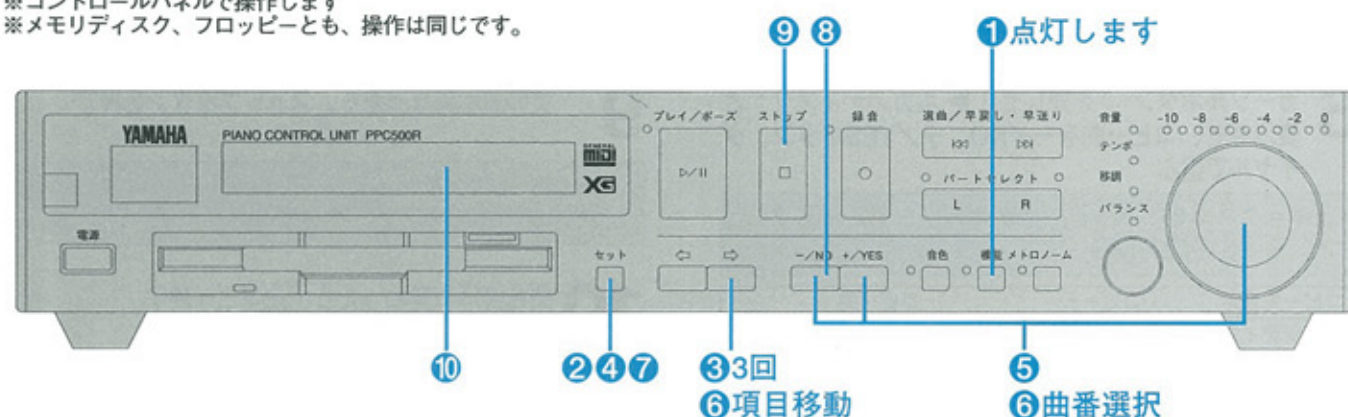
○○○○○ (00:00) →
S O X G



- 曲コピー開始中にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーはコピー先に指定できません(xv参照)。
- ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン(またはストップボタン)を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ソフトからメモリディスクへの曲コピーは可能です。市販ソフトからフロッピーへの曲コピーはできません。
- E-SEQタイプのディスクにE-SEQフォーマット以外の曲はコピーできません。

曲並び替え 録音した曲を好きな曲順に並び替える

※コントロールパネルで操作します
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



停止中に操作します

1 機能ボタンを押す

▶ ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

2 「▶ ディスク」と表示されていることを確認してセットボタンを押す

▶ フォーマット *キョク ショウキョ
*キョク コビ°ー *キョク ナラビ°カエ →

3 カーソルボタン⇔を3回押して「▶キョク ナラビカエ」と表示させる

*フォーマット *キョク ショウキョ
*キョク コビ°ー ▶キョク ナラビ°カエ →

4 セットボタンを押す

[キョク ナラビ°カエ] (←, →)
▶ 01ヲ → 01ハ°ンメニ (←, →, セット)

曲番号

5 ー/NO、+/YESボタン、ダイヤルで何曲目を変更するかを選ぶ

[キョク ナラビ°カエ] (←, →)
▶ 02ヲ → 01ハ°ンメニ (←, →, セット)



●メモリディスクやフロッピーの中の曲順を、好きな順番に並び替える機能です。



●フロッピー内の曲順を並び替える場合は、④の表示までに入れておきます。挿入されていない場合は、メモリディスク内の曲順を並び替えます。

●「現在○番の曲を変更後何番にするか」を1曲ずつ指定していきます。
例えば、3番の「C」を1番にして並び替えを続行し、5番の「E」を4番にして終了させると、次のように並び替わります。

| 曲番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------|---|---|---|---|---|
| 並び替え前 | A | B | C | D | E |
| 並び替え後 | C | A | B | E | D |

6 カーソルボタン⇨を押してカーソルを右に移し、変更後の曲番を、- / NO、+ / YESボタン、ダイヤルで選ぶ

[キョク ナラビ カエ] (一, +)
> 02ヲ ▶ 05ハ'ンメニ (←, →, セット)

7 セットボタンを押すと1曲分の設定が終わり、次の画面になる

点減
↓
ナラビ カエヲ ツツ' ケマスカ? (YES, NO)
02ヲ ▶ 05

※並び替えを続けるなら、+ / YESボタンを押すと⑥に戻るので、⑥~⑧を繰り返して、1曲ずつ変更します。

8 並び替えをの設定を終了するには、⑧の質問に対して- / NOボタンを押すと、並び替えを開始

シ' ッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

9 次の表示になったら、ストップボタンを押す

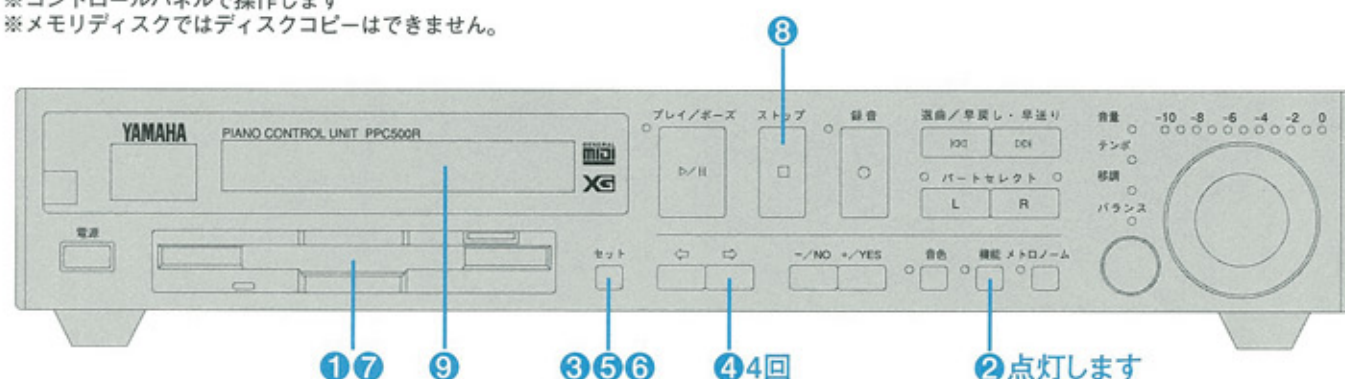
シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ' タンヲ オシテクタ' サイ

10 曲名表示が変わったら、曲並び替え終了

- 曲並び替え実行中にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになったフロッピー(xv参照)や「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ソフトは、曲並び替えできません。
- 変更後の曲番号は、重複して指定できないようになっています。
- ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン(またはストップボタン)を押して消灯させます。

ディスクコピー フロッピー全体をコピーする

※コントロールパネルで操作します
※メモリディスクではディスクコピーはできません。



停止中に操作します

1 ディスクコピーしたいフロッピーを入れる

※コピー元のフロッピーはプロテクトをオン（プロテクトタブを穴のあいた状態にスライドさせる）にしてください（xv参照）。

2 機能ボタンを押す

▶ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

3 「▶ディスク」と表示されていることを確認し、セットボタンを押す

▶フォーマット *キョク ショウキョ
*キョク コピ°ー *キョク ナラヒ°カエ →

4 カーソルボタン⇔を4回押して「▶ディスク コピ°ー」と表示させる

▶デ°ィスク コピ°ー *キョク ヘンカン
*カウンター



●フロッピーに入った全曲を、別のフロッピーにまるごとコピーする機能です。



- 大切な演奏を記録したフロッピーのバックアップをとるなどに使います。
- コピー先が新しいフロッピーである場合は、フォーマットしてから行います。
- コピー先のフロッピーのデータ容量によっては、次のような表示がでることがあります。ディスプレイの指示に従って、コピー先のフロッピーとコピー元のフロッピーを入れ換えてください。

コピ°ーモトノ デ°ィスクヲ イレテクタ°サイ

5 セットボタンを押す

[ディスク コピー]
2DD (セット)

↑
フロッピーのタイプ

6 セットボタンを押すとディスクコピー開始

シハラク オマチクタ サイ

7 数秒後、次の表示が現れるので、フロッピーを取り出し、コピー先のフロッピーを入れる

コピーサキノ ディスク イレクタ サイ

※コピー先のフロッピーは必ずプロテクトをオフ(プロテクトタブを穴の閉じた状態にスライドさせる)にしてください(xv参照)。

8 下の表示になったらストップボタンを押す

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホタンヲ オシテクタ サイ

9 曲名表示に変わったらディスクコピー終了

○○○○○ (00:00) →
S O X G

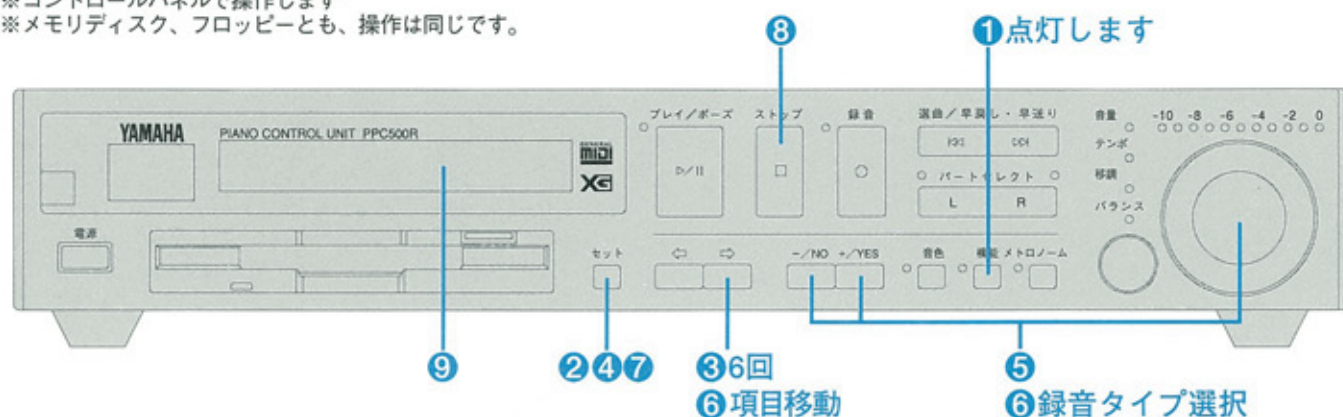


- メモリディスクではディスクコピーはできません。
- コピー先のフロッピーに入っている曲やデータはすべて消えます。
- プロテクトがオンになったフロッピーへは、ディスクコピーできません。
- ディスクコピー実行中にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- 2DDのフロッピーは2DDのフロッピーへ、2HDのフロッピーは2HDのフロッピーへコピーします。
- ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン(またはストップボタン)を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ソフトをディスクコピーすることはできません。

カウンター変更

録音タイプ (メトロノーム録音/時間録音) を変更する機能

※コントロールパネルで操作します
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



停止中に操作します

1 機能ボタンを押す

▶ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

2 「▶ディスク」と表示されていることを確認してセットボタンを押す

▶フォーマット *キョク ショウキョ
*キョク コヒ→ *キョク ナラビ カエ →

3 カーソルボタン⇄を5回押して「▶カウンター」と表示させる

←*デ ィ ス ク コ ヒ ←
▶カウンター

4 セットボタンを押す

[カウンター ヘンコウ] (←, →, セット)
▶ 0 1 → シ ン (←, →, セット)

曲番号 変更後の録音タイプ

5 -/NO、+/YESボタン、ダイヤルで変換する曲を選ぶ

[カウンター ヘンコウ] (←, →, セット)
▶ 0 5 → シ ン (←, →, セット)



●曲ごとに、録音タイプを変更する機能です。メトロノーム録音した曲を時間録音にしたり、時間録音した曲をメトロノーム録音にすることができます。



- カウンター変更実行中にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンになったフロッピーに入っている曲は、カウンター変更できません(xv参照)。
- ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン(またはストップボタン)を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ソフトのカウンター変更は行えません。

6

[カウンター ヘンコウ] (ー, +)
→ 05 ▶メトロノーム (←, →, セット)

変換後の録音タイプ

7

シッ コウ チュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加
わります。

8

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ・タンヲ オシテクタ・サイ

9

PIANO ○○○. MID (000-0) →
S0 XG

フォーマットについて

- 新しいフロッピーを録音／再生に使えるようにする作業をフォーマットと言いますが、ここでは、曲やディスクの「形式」という意味でのフォーマットを解説します。本機単独でお使いの方はさほど意識される必要はありませんが、サイレントアンサンブルピアノの従来機種やピアノプレーヤと曲やフロッピーをやりとりされる方、パソコンの音楽ソフトと共にお使いになる方は、ご一読ください。
 - 「曲フォーマット」は、曲をメモリディスクやフロッピーに記録する形式のこと。本製品では、現在もっとも広く使われている「スタンダードMIDIファイル(SMF)のフォーマット0」という形式を新たに採用しました。パソコン用の音楽ソフトで作成しこのフォーマットで保存した曲に本機でピアノパートを追加したり、本製品で作成した曲をパソコンでエディットするといったことがスムーズに行えます(曲名表示で「S0」と表示)。
 - フロッピーのフォーマット時にディスクタイプを指定できますが、初期値の「SMF type Disk」にしておくと、新たに曲を録音する時に、自動的にスタンダードMIDIファイルのフォーマット0形式になります(メモリディスクは工場出荷時にSMFタイプにフォーマットされています)。
 - もう1つの「E-SEQ type Disk」は、従来機種との互換性を重視するディスクフォーマットです。従来のサイレントアンサンブルピアノやピアノプレーヤの曲は、「E-SEQ」という形式をベースにしています(HQシリーズはSMF曲の再生は可能)。E-SEQタイプにフォーマットされたディスクは、E-SEQフォーマット曲で録音されます(曲名表示で「ES」と表示)。なお、従来機種では2HDフロッピーは使えません。
 - SMF1は「スタンダードMIDIファイル(SMF)のフォーマット1」という形式で、これもパソコン用の音楽ソフトでしばしば使われる形式です。本製品は、SMF1形式の曲の再生が可能です。
- ※なお、E-SEQタイプのディスクの中にパソコンでE-SEQ以外の形式のファイルをコピーしても、本機のディスプレイで確認したり、再生することはできません。

[*参照ページ]

◆フォーマット……xvii、P36

◆曲コピー……P64

◆ディスクコピー……P68